

二級 木造 建築士免許申請書 〔記入上の注意〕数字は、算用数字を用い、※欄の記入をせず、 ☐のある欄は、該当する☐の中に✓印を付けてください。外国の建築士免許を受けた方は「試験」の欄にその免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。 私は、二級 建築士の免許を受けたいので、戸籍抄本(戸籍事項記載証明書)を添え、申請します。私は、下記事項が真実、かつ、正確であることを誓います。 年 月 日 氏名 (印) (署 名) 岐 阜 県 知 事 岐阜県指定登録機関 殿 公益社団法人岐阜県建築士会										
ふりがな 氏 名					生年 月 日	昭和 平成 年 月 日				
本 籍					性別	男 ☐ 女 ☐		写真 1 6ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上半身、無背景の縦4.5cm、横3.5cmの写真 2 裏面に氏名及び撮影年月日を記入して貼り付けてください。 3 貼付した写真は免許証明書に転写されます。		
現 住 所		〒 _____			電話 _____					
試 験		二級 建築士試験に合格した時期 _____ 年								
		合格日付		年 月 日		合格番号 (受験番号)		第 _____ 号		
欠 格 事 由	1 後見開始又は保佐開始の審判(禁治産者又は準禁治産者の宣告もこれに該当するとみなされます。)を受けていますか。 いる ☐ いない ☐									
	2 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 ある ☐ ない ☐ あるときは、その罪及び刑 _____ あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 _____ 年 月 日									
	3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 ある ☐ ない ☐ あるときは、その罪及び刑 _____ あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日 _____ 年 月 日									
	4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 ある ☐ ない ☐ あるときは、その日 _____ 年 月 日									
	5 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 ある ☐ ない ☐ 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 年 _____ 月 _____ 日まで									
※ 審 査 欄	戸籍照合	合格者	名簿照合	欠格審査	手数料 確認	名簿登録	免許 発行 証行			
※ 登録番号					※ 登録年月日		年 月 日		※ 受付番号	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(裏面)

登録手数料
金融機関発行の払込証明書等 貼付欄

(払込証明書等の裏面全面に糊付けし、
この枠内に貼付してください。)

※貼る前に必ずコピーをとり
保管しておいてください。